

令和5年度第3回学校運営協議会を開催しました

2月7日（水）、令和5年度第3回学校運営協議会を開催しました。

第5校時の授業を参観した後、「コミュニティ・スクールとしての本年度の成果と課題」「来年度の取組」について協議しました。

出席者

近藤区長 西公民館長 館林市国際交流協会前会長
学校支援ボランティア 六郷地区青少推会長
主任児童委員 西公民館活動推進委員 西幼稚園長
第三中学校長 多々良中学校長 十小PTA会長
第十小学校長 第十小学校教頭 CSディレクター
館林市教育委員会学校教育課指導主事



学校運営協議会の内容

- (1) 報告「第2回学校評価の結果について」
- (2) 学校運営協議会委員による協議「本年度の成果と課題、来年度の取組について」

協議での意見

【成果】

- 地域にある施設や人材を活用して、今までやってきた活動をさらに充実させることができた。いろいろな方に学校を支えていただけた。
- ボランティアの方にお世話になり、子どもたちは様々な体験をすることができた。協力していただいたボランティアの方にとっても有益な活動となるようにしていきたい。
- 学校運営協議会という場がネットワーク作りのきっかけとなり、そこから広がって、いろいろな方と繋がりが持てるようになった。これからも、公民館などの力を借りながら、学校としてできることをして、地域に返せるようにしていきたい。

【課題】

- 地域にある人材や資源をより活用できるようにするために、公民館が地域の情報を集め、先生方にも紹介できる体制を作っていくことが必要。
- 十小に子どもが通っている家庭では、子どもを通して学校の様子が分かるが、地域の方には、学校がどんな活動をしているかなかなか伝わらない。地域に開かれた学校にできるように、情報発信の仕方をさらに工夫していきたい。
- 十小に通いたがっている外国籍の子どもが多い。教育委員会にも支援をお願いして、受け入れ体制を整えていきたい。
- 学校は一生懸命地域と繋がろうとしているが、地域に活力がなく、活動が衰退してきている地域もある。子どもたちが喜んで活動している姿を見れば、親も必要性を感じると思うので、多くの親に地域の行事に参加してもらえそうな方法を考えていきたい。

